

# 群馬県体育史 抜粋(第三卷より)

## 柔道

### 平成元年

全国高校選手権大会で61kg級の北爪弘子(常盤)が全国2連覇し、全日本女子体重別選手権で準決勝に進出、さらに福岡国際女子選手権に出場。

全日本少年柔道錬成大会で毛呂道場が全国優勝。

関東中学校大会で中軽量級の田中英明(尾島)と重量級の赤澤良太(桂萱)が第3位。

東日本実業柔道団体対抗大会で三洋電機が初優勝。

はなます国体(北海道)に少年男子・成年男子が出場。

### 平成2年

群馬県柔道選手権で吉田一夫(県警)が2連覇。

県強化選手が台湾遠征。

スペインから成年選手が武者修行に来県、県強化選手と対戦。

とびうめ国体(福岡県)で成年男子が5位入賞。少年男子は2回戦で敗退。

県内初の女子団体試合を開催し、優勝は前橋支部。

対東北柔専親善柔道大会で群馬が13対3で勝利。

### 平成3年

群馬県柔道選手権で吉田一夫(県警)が3連覇。

関口孝義会長が退任、大林有範氏が会長就任。

マルちゃん杯関東少年大会で佐藤道場(小学生の部)が優勝。境町柔道教室が第3位。

『柔らかい手一思い出の関口恒五郎先生一』を出版。

マルちゃん杯全日本選抜少年大会で佐藤道場(小学年の部)が全国優勝。

柔道場連合会柔道大会を、529人の参加で盛況に開催。

### 平成4年

関口杯支部対抗柔道大会で前橋支部(Aブロック)が6連覇。

ハンガリーのナショナルチームが来県、一般、警察、高校生などと合同練習。

関東選手権大会(千葉県)で吉田一夫(県警)が3位入賞、全日本選手権大会へ出場。本県からは今川直明(昭和62年中之条高教諭、63年佐波農高教諭)に続き4年ぶり4人目の出場。

べにばな国体(山形県)で総合第4位。少年男子は1回戦で三重県に惜敗。成年男子がベスト8。少年女子は準

優勝。決勝は埼玉県に1対1で惜敗。

県女子体重別選手権大会に過去最多の87名が出場。

### 平成5年

国体関東ブロック大会で少年男子・少年女子が通過し、成年男子と本大会に出場。

全国教員大会(愛知県)で第3位。準決勝で熊本県に1対1で惜敗。

全日本ジュニア体重別選手権で60kg級の高橋俊将(育英)が第3位。

フィンランドからジュニア選手5人が来県、高校生や大学生、実業団、県警の選手らと合同練習。

### 平成6年

全国高校選手権県予選で育英が4年連続7回目の優勝。

全日本実業選手権大会で71kg級の高橋竜二(三洋電機)がベスト8、95kg以下級の村谷諒二がベスト16、61kg以下級の鈴木あゆみがベスト8。

関東ジュニア柔道体重別選手権大会で60kg級の清水義光(育英)が準優勝、60kg級の沢木輝和(育英)が第3位。

群馬県警察・一般合同柔道大会で高崎(1部)、吾妻(2部)が優勝。

国体関東ブロック大会で少年男子が通過し、成年男子と本大会へ出場。

関東高校大会で女子個人戦重量級の木村昌代(常磐)が準優勝。

全国中学校大会で78kg超級の根岸篤史(高崎大類)が第3位、65kg級の西野公章(高崎塚沢)、78kg級の斎藤隆広(新町)がベスト8。

全日本医師大会で小沢親子が金・銀。30歳代で小沢聖史が優勝、60歳代で小沢陸男が準優勝。

ドイツジュニア国際柔道大会で本多陽子(育英3年)が優勝。また、本多選手の姉、暁子がベトナム国際大会で優勝。

### 平成7年

マルちゃん杯関東少年大会少年の部で毛呂道場が優勝。佐藤道場が第3位。

全国少年柔道大会で毛呂道場がベスト8。

関東高校柔道大会(群馬県スポーツセンター)で育英が準優勝。女子個人重量級で笠原由香里(常盤)が第3位。

東日本実業団大会で三洋電機が第3位。

講道館審判講習会を開催。講師は醍醐敏郎九段。

渋川市立武道館が完成。トレーニング室等設置、スポーツドクターを配備。斎藤仁氏(国士舘大学・オリンピッ



ク金メダリスト)を迎え道場開きを挙る。

第20回全国教員大会(広島県)で準優勝。

### 平成8年

世界選手権(幕張メッセイベントホール)で岡泉茂(前商一東海大一新日鉄)が銅メダル。

全日本女子体重別選手権関東予選で、56kg級の上村美紀(常盤)、61kg級の吉沢穂波(常盤)が優勝し、全日本体重別選手権大会出場。72kg級の木村昌代(ミキハウス)も全日本体重別選手権大会出場。

関東中学大会で55kg級の八山泰光(塚沢)が優勝。

関東高校大会で56kg級の吉沢穂波(常盤)が優勝。

全国高校総体で95kg超級の根岸篤史(育英)が第3位。

イタリア・シジロ国際柔道大会に初出場。今井孝造団長(県柔連副会長)以下10名参加。

全国教員大会(大阪府)で第3位。

群馬県柔道教室を開催。講師は上村春樹八段と細川伸二六段(ともにオリンピック金メダリスト)。

世界医師大会(リスボン)で71kg級の小沢聖史が準優勝。

### 平成9年

全国高校選手権で男子無差別級の根岸篤史(育英)が第3位、女子61kg級の吉沢穂波(常盤)が準優勝、女子52kg級の横澤由貴(前橋東)が第3位。男子団体の育英はベスト8。

イタリアジュニア国際大会で95kg超級の根岸篤史(育成)、95kg級の斎藤隆弘(育英)がともに優勝。

関東女子選手権大会で木村昌代(ミキハウス)が第3位、全日本女子柔道選手権へ出場。

大林宥範会長退任で、角屋浩司氏が会長就任。

全国少年大会で毛呂道場が第3位。萩本貴章(毛呂道場)が敢闘賞。

全国高校総体で軽中量級の西野公章(育英)が全国優勝。

### 平成10年

フランスジュニア国際大会で52kg級の横沢由貴(前橋東)が準優勝。

関東中学校大会で男子団体の尾島が第3位。

78kg超級の須田章泰(佐波東)が準優勝。

全国高校総体で66kg級の篠崎悠(農二)が第3位。60kg級の小暮俊介(高崎)はベスト8。

全日本医師大会の30歳代で小沢聖史が優勝、60歳代で小沢陸男が準優勝。

### 平成11年

全国高校選手権大会県予選で、男子団体の前商が2年連続の優勝。全国高校総体予選で女子団体の常盤が9度目の優勝。

全国中学校大会の県予選で片岡が男女アベック優勝。

群馬県選手権は福山智幸(県警)が3連覇、女子は木幡愛子(常盤)が初優勝。

全日本ジュニア体重別選手権大会で66kg級の篠崎悠(農二)が優勝。同じく52kg級の横澤由貴(住友海上)が優勝。

全日本学生体重別選手権大会で60kg級の清水義光(国士大)が優勝。

### 平成12年

全国高校選手権大会で女子78kg級の原澤綾(利商)が準優勝。男子団体戦で前商が3年連続10回目の出場、ベスト8。

全国高校総体で100kg級の木村淳之(前商)が第3位。

全国少年大会で加藤大介(佐藤道場)がベスト8。

国体関東ブロック大会で少年男子が通過し成年男子と本大会に出場。

アメリカ国際選手権大会で横澤由貴(住友海上)が全試合一本勝ちで優勝。

関東ジュニア体重別選手権大会で、60kg級の八山泰光(育英)が優勝、90kg級の竹澤稔裕(前商)、78kg級の原澤綾(利商)が2位となり、全日本ジュニア体重別選手権大会に出場。

### 平成13年

県柔道連盟創立50周年記念式典開催。

ぐんま武道館完成。

ハンガリー国際大会で52kg級の横澤由貴(住友海上)が優勝。全日本女子柔道選抜体重別選手権大会でも優勝し、世界選手権大会(ミュンヘン)で5位にも入賞。

国体関東ブロック大会が本県開催。

関東高校大会で個人無差別の竹澤稔裕が県勢19年ぶり優勝。

全国高校総体で66kg級の武田恵三(育英)が第3位、81kg級の柁澤亮介(高崎)がベスト8。

全国高校選手権大会で前商が男子団体ベスト8、個人無差別で竹澤稔裕(前商)がベスト8。

関東中学校大会で南橋が第3位、個人戦で66kg級の倉堂皓行(芳賀)、52kg級の清水愛(片岡)、63kg級定形美希(前二)が準優勝。

役員研修会で講演会「ヨーロッパの柔道の歴史と現況」



形の普及」を開催。講師は安部一郎氏(講道館審議部長)

### 平成14年

ブレイメンジュニア国際大会で90kg級の竹澤稔裕(前商)が優勝。

全国高校総体県予選で前商が育英を破り5連覇。

世界ジュニア選手権大会(韓国)で90kg級の竹澤稔裕(筑波大)が金メダル。

全国高校選手権大会で48kg級の清水美和(前商)がベスト8。

関東高校大会で、63kg級の栗原美樹(前東)が準優勝、48kg級の細貝麻衣(高経附)、78kg級の廣田泰子(前東)が第3位。

全国少年大会で大澤翔太(佐藤道場)が第3位。

中学関東大会で81kg級の大橋省吾(藪塚本町)、44kg級の秋山藍里(高南)、48kg級の秋山樹里(高南)、63kg級の定形美希(前二)が優勝。60kg級の清塚広祐(佐波東)、81kg級の小島健矢(境北)が準優勝、55kg級の川端将平(前七)、66kg級の佐々木祐也(前七)、70kg級の野尻遥(中尾)が第3位。

全国高校定時制通信制大会で中量級の高橋将弘が準優勝。4年連続出場で表彰。

全国中学校大会で55kg級の川端将平(前七)が準優勝。男子団体で塚沢がベスト8。

役員研修会で講演会「講道館柔道の歴史と今後の課題」を開催。講師は村田直樹氏(講道館資料室長)

### 平成15年

関東高校大会で78kg級の増田紀子(樹徳)が第3位。

関東中学校大会で富東が女子団体で第3位。

90kg級の加藤大介(塚沢)、44kg級の秋山藍里(高南)、48kg級の桑原里奈(前二)、63kg級山口香(箕郷)、70kg超級の野尻遥(中尾)が第3位。

全国中学校大会で52kg級の粕川めぐみ(前五)が第3位、70kg級の秋山葉月(富東)、70kg級の野尻遥(中尾)、90kg級、加藤大介(塚沢)がベスト8。

役員研修会で講演会「ドーピング」を開催。講師は海老根東雄氏(国際柔道連盟医事委員長)

### 平成16年

アテネオリンピック女子日本代表選手団の強化合宿を赤城村で開催。横澤由貴(前東高一三井住友海上)が52kg級選手として参加。

全日本選手権で根岸篤史(横浜市立中学教諭・育英高出身)がベスト16。

アテネオリンピックで52kg級の横澤由貴(前東高一三井住友海上)が銀メダル。

役員研修会で講演会「私の指導法」を開催。講師は鈴木寛人氏(桐蔭学園高校柔道部監督・全国優勝多数)。

全国高校選手権大会で無差別級の萩本貴章(桐一)が第3位。

### 平成17年

全日本選抜体重別選手権大会で66kg級の西野公章(了徳寺学園・育英高出身)と66kg級の篠崎悠(了徳寺学園・農大二高出身)がともに第3位。

アジア選手権大会で52kg級の横澤由貴(前東高一三井住友海上)が第3位。世界選手権大会で52kg級の横澤由貴(前東高一三井住友海上)が銀メダル。

フィンランド柔道指導者(棚山浩靖氏ほか9名)が来県、警察学校で合同練習及び高校の柔道授業を参観。

役員研修会で講演会「柔道の国際化と日本の柔道」を開催。講師は野瀬清喜氏(八段・前全日本女子柔道ヘッドコーチ)。

フランス人柔道指導者ルシュール六段が来県。旧知の柴崎道場師範(洋行氏)を訪ねた後、ぐんま武道館で指導法を披露。

全国少年大会小学5年生の部で角田裕祐(佐藤道場)が全国優勝。

全国高校選手権で48kg級の秋山樹里(高経附)が第3位。

関東形競技大会で藤川進六段・新井淳司六段組が「極の形」で優勝。

関東ジュニア体重別選手権大会で52kg級の秋山樹里(高経附)・48kg級の秋山藍里(高経附)の姉妹がともに優勝。

### 平成18年

角屋浩司会長が辞任、宮澤勲氏が会長に就任。

関口杯支部対抗大会が40回目を迎え記念大会を開催。

本県出身の安部一郎十段〔前橋中学(現前橋高校)出身〕が「投の形」・「極の形」を指導・講評。

英国大学チーム(オックスフォード大、ケンブリッジ大、チッチェスター大、パース大)が来県し、国体強化選手及び高校生・大学生らと合同練習。

講道館と全日本柔道連盟で推奨する柔道ルネッサンス活動の標語優秀賞が松村和也(前商)の「謙虚な気持ちを忘れずに・磨いた技で一本勝ち」に。全日本選手権大会をはじめ主要な大会で掲示。

役員研修会で講演会「国際柔道の組織・運営とその問



題点」を開催。講師は中村良三氏(八段・前国際柔道連盟教育普及理事)

全国中学生大会で女子52kg級の長壁榛美(塚沢)が全国優勝。

全日本ジュニア体重別選手権大会で70kg級の青木恵(常盤高)が第3位。

毎年盛んになる暑中稽古に、参加総数のべ396人、皆勤者は177人。

全国少年大会5年生の部で佐野慶征(佐藤道場)が第3位。

全国小学生学年別大会で5年女子40kg級の小山亜利沙(佐藤道場)が準優勝。

### 平成19年

関東柔道選手権大会が群馬県(ぐんま武道館)で開催。

安部一郎十段による「投の形」「柔の形」の講習会を開催。

イタリア・シジッコ国際柔道大会に11回目の参加。武藤立美団長(県柔連副会長)以下9名。

暑中稽古盛況。3日間でのべ参加総数553人、皆勤者は194人。

全国小学生学年別大会で5年女子40kg級の千葉未来(佐藤道場)が準優勝。6年女子45kg級の小山亜利沙(佐藤道場)が第3位。

### 平成20年

国体関東ブロック大会で少年女子が2年連続で通過し、成年男子と本大会に出場。

全日本ジュニアブロック合宿及び柔道フェスタが開催され、北京五輪代表選手塚田真希ら4名が来県し、県内柔道少年少女600名に指導。

役員研修会で講演会「北京オリンピックを終えて」を開催。講師は岡泉茂氏(北京オリンピック女子強化コーチ)。

関東中学生大会で55kg級の石川航(水上中)と66kg級の三留宏之(前二中)が優勝。

全日本ジュニア体重別選手権で78kg級の下田美沙季(前商)が第3位。

全日本実業柔道個人選手権で76kg級の西野公章(図南クラブ)が第3位

### 群馬県柔道選手権大会歴代入賞者

	優 勝	準 優 勝	3 位	3 位
H 1	吉田 一夫	諸田 泰徳	藤塚 博幸	小野塚明宏
H 2	吉田 一夫	石橋 光	今川 直明	大沢 達也
H 3	吉田 一夫	星野 悟	諸田 泰徳	石橋 光
H 4	森岡 健	亀井 隆平	小林 彰男	星野 悟
H 5	吉田 一夫	森岡 建	亀井 隆平	赤沢 良太
H 6	小山 勝由	小林 彰男	吉田 一夫	田口 基有
H 7	菊地 直樹	小山 勝由	根本 忠典	高橋 学
H 8	小山 勝由	田口 基有	須藤 真一	菊地 直樹
H 9	小山 勝由	須藤 真一	五十嵐靖倫	横堀 修一
H 10	福山 智幸	小山 勝由	須藤 真一	五十嵐靖倫
H 11	福山 智幸	小山 勝由	中島 誠	栗原 禎正
H 12	福山 智幸	中島 誠	小山 勝由	中島 亨
H 13	福山 智幸	中島 誠	小山 勝由	中島 亨
H 14	中島 誠	菅野 真貴	竹澤 稔裕	平井 辰徳
H 15	福山 智幸	中島 誠	横堀 修一	諸田 和幸
H 16	中島 誠	平井 辰徳	福山 智幸	横堀 修一
H 17	福山 智幸	萩本 貴章	長岡 俊介	松井 利晃
H 18	横山 大輔	平井 辰徳	木村 淳之	長岡 俊介
H 19	木村 淳之	長岡 俊介	平井 辰徳	八山 泰光
H 20	西野 公章	松井 利晃	横山 大輔	長岡 俊介



群馬県女子柔道選手権大会歴代入賞者

	優 勝	準 優 勝	3 位	3 位
H 6	丸山 徳子	木村 昌代	長沼 千春	齋藤 理恵
H 7	木村 昌代	本多 陽子	横沢 瑞恵	上村 美紀
H 8	吉澤 穂波	森田ちはる	横沢 瑞恵	荒井 理恵
H 9	吉澤 穂波	木村 昌代	上村 美紀	森田ちはる
H10	吉澤 穂波	大塚香奈子	横沢 由貴	新潟優香里
H11	原澤 綾	岡村 香織	深井 香	松本 紀恵
H12	木幡 愛子	新潟優香里	原澤 綾	柴田 香里
H13	原澤 綾	木幡 愛子	羽鳥 優子	金子 夏記
H14	原澤 綾	武藤 由香	栗原 美樹	前田 紘子
H15	田中 莉奈	栗原 美樹	佐藤 友美	松本 聡子
H16	須藤 有加	都丸 吏香	青木 恵	羽鳥 優子
H17	新潟優香里	野尻 遙	青木 恵	秋山 樹里
H18	新潟優香里	野尻 遙	秋山 樹里	青木 恵
H19	野尻 遙	地濃 早貴	秋山 樹里	下田美紗季
H20	井野 美幸	地濃 早貴	下田美紗季	南雲 春乃

県民大会歴代優勝チーム

	市の部	郡の部		市の部	郡の部
H 1	前 橋	邑 楽	H 7	前 橋	北群馬
H 2	前 橋	利 根	H 8	前 橋	北群馬
H 3	前 橋	勢 多	H 9	前 橋	勢 多
H 4	前 橋	利 根	H10	前 橋	勢 多
H 5	前 橋	利 根	H11	前 橋	新 田
H 6	前 橋	北群馬	H12	前 橋	新 田
			H13	前 橋	新 田
			H14	前 橋	勢 多
			H15	前 橋	勢 多
			H16	前 橋	群 馬
			H17	前 橋	群 馬
			H18	前 橋	利 根
			H19	前 橋	北群馬
			H20	太 田	邑 楽

関口杯大会歴代優勝チーム

	総合優勝	A 組	B 組	C 組
H 1	前橋	前橋	佐波・伊勢崎	勢多
H 2	高崎	前橋	高崎	群馬
H 3	邑楽・館林	前橋	邑楽・館林	甘楽・富岡
H 4	勢多	前橋	新田・太田	勢多
H 5	甘楽・富岡	前橋	桐生	甘楽・富岡
H 6	前橋	前橋	新田・太田	勢多
H 7	吾妻	邑楽・館林	北群馬・渋川	吾妻
H 8	勢多	北群馬・渋川	勢多	碓氷・安中
H 9	高崎	北群馬・渋川	高崎	利根・沼田
H10	佐波・伊勢崎	北群馬・渋川	佐波・伊勢崎	群馬
H11	利根・沼田	佐波・伊勢崎	新田・太田	利根・沼田
H12	桐生	前橋	桐生	多野・藤岡
H13	北群馬・渋川	前橋	北群馬・渋川	甘楽・富岡
H14	前橋	前橋	桐生	利根・沼田
H15	前橋	前橋	高崎	邑楽・館林
H16	前橋	前橋	勢多	群馬
H17	桐生	佐波・伊勢崎	桐生	邑楽・館林
H18	太田	太田	群馬・高崎	安中
H19	勢多・前橋	勢多・前橋	邑楽・館林	吾妻
H20	勢多・前橋	勢多・前橋	北群馬・渋川	桐生

(執筆 鳥居 吉二)



## 群馬県柔道連盟役員

【顧問】	中村 紀雄	関根 圀男	鈴木 守	紺 正行	関口 明
【相談役】	柳谷 勝之	櫻井 弘	石井 清一	大藤 忠昭	
【参与】	鈴木 元一	北爪 隆雄	椛澤 光雄	石倉 貞幸	原口 市
	野口 雄望	斎藤 鬼四郎	岸 宏	栗原 傳一郎	江原 隆起
	星野 勲	金田 正敏	茂原 勤	木暮 昌利	神田 茂博
	松澤 卷雄	周東 正夫	安澤 謙太郎	玉川 日出雄	鹿沼 幸吉
	津久井 彦一	原澤 研祐	西村 満郎	栗原 光雄	三橋 好
	澤田 芳信	田村 修一	剣持 和彦	伊藤 孝平	福田 敏久
【会長】	富澤 政信				
【副会長】	椛澤 博之	越塚 輝雄	小林 充	市川 正人	市川 平治
【監事】	碓井 良一	松本 邦夫	新井 信雄		
【理事長】	鳥居 吉二				
【副理事長】	今川 直明	吉田 一夫			
【指名理事】	糸井 義一	石橋 吉一	平井 敦	根岸 宏	高橋 進
	大澤 盛夫	佐藤 伯幸	篠崎 清朗	吉原 秀忠	佐藤 浩一
	大澤 哲夫	岡泉 茂	田島 隆行	福島 美千行	青木 順一
	井野 正彦	伊丹 弘明	小畑 弥富	石川 弘子	
【部長】	石田 実 (会計)	黒田 圭一 (強化)	北澤 武廣 (行事)	港 慎一郎 (広報)	細貝 昭吾 (指導)
	狩野 一広 (庶務)	市川 正人 (審議)	塚田 純也 (審判)	長谷川 実 (登録)	藤川 進 (普及)
【支部長】	池田 進 (前橋)	市川 正人 (高崎)	稲垣 清 (桐生)	吉田 光保 (佐波・伊勢崎)	木戸 弘志 (太田)
	阿部 学 (利根・沼田)	内田 靖人 (邑楽・館林)	永躰 敏明 (北群馬・渋川)	荻野 廣男 (多野・藤岡)	木暮 法孝 (安中)
	新井 淳司 (甘楽・富岡)	山本 隆雄 (吾妻)	相羽 雄一郎 (みどり)		
【団体代表】	吉田 一夫 (警察)	小川 正行 (大学)	今川 直明 (高体連)	小畑 弥富 (中体連)	田島 隆行 (道場連合会)
	野尻 猛 (実業連)	大藤 忠昭 (接骨師会)	藤川 進 (スポ少)		

「ぐんま柔道」縮刷版

平成二十七年三月二十九日発行

発行 群馬県柔道連盟

高崎市旭町一二八

(群馬県柔道連盟事務局)

電話(〇三三)三三二一五七二番

FAX(〇三三)三二五七二二番

制作 株式会社スパン





